



SOJITZ IR DAY 2018

機械・医療インフラ本部

2018年9月3日

双日株式会社

機械・医療インフラ本部長

草野 成也



目次

- ◆ 本部概要
- ◆ 本部方針・成長戦略
- ◆ 事業紹介
 - 医療インフラ事業
 - 産業機械・軸受事業
 - プラント・プロジェクト事業
 - 双日マシナリー
- ◆ 更なる成長へ向けて

将来情報に関するご注意

資料に記載されている業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。



本部概要

医療インフラ事業部

- 日系初の海外大型病院PPP事業参画となったトルコ・イキテリ病院事業を通じて、他社に先駆けPPP事業運営ノウハウを獲得



プラントプロジェクト部

- 長年の実績、提案力、パートナーとの信頼関係、設計・建設・ファイナンス・運営なども含めたトータル・ビジネススキームの組成力

産業機械・軸受部

- 広範な産業を支えるベアリング並びに半導体/電子関連製造設備・ロボットを核としたバリューチェーン構築による強みを生かした事業展開



双日マシナリー

- 産業機械の専門商社（先端システム事業、化学・環境プラント事業、重工プラント事業、産業機械事業、自動車設備事業）

関係会社（連子・持分合計26社）



従業員数

本社：80名
海外：26名
双日マシナリー：246名
2018年8月1日時点



本部方針・成長戦略

【本部方針】 「医療インフラ事業」、「産業機械・軸受事業」、「プラントプロジェクト事業」を三本柱とし、物流トレードと事業投資の両輪で収益を拡大。

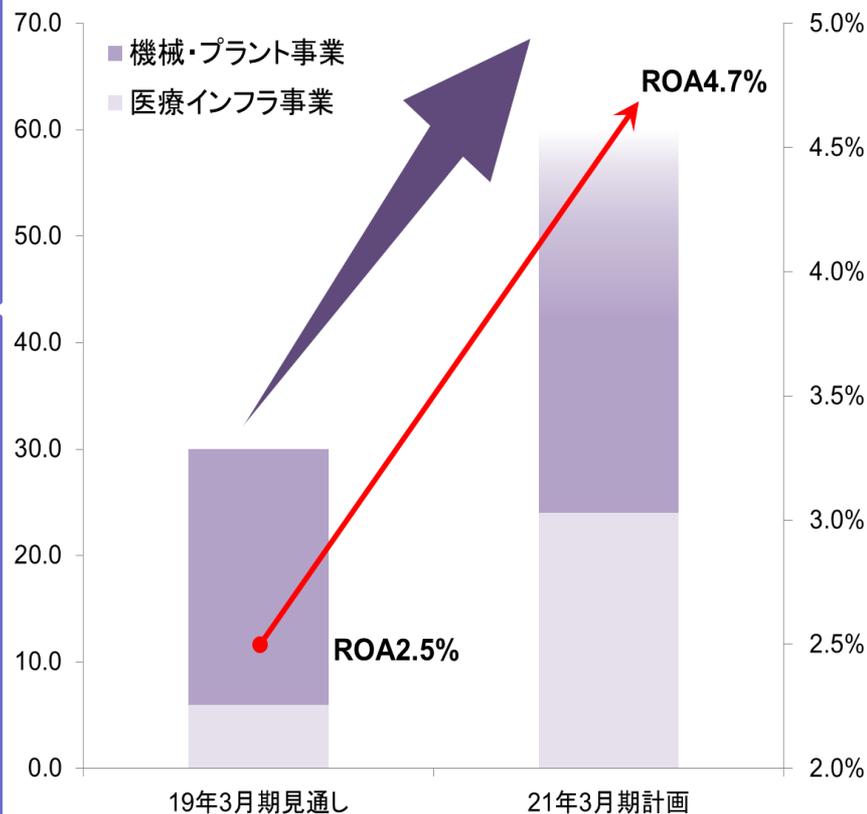
【事業環境の変化】

- 新興国の経済発展・生活水準向上に伴うインフラ需要の高まり
- 世界的な環境規制に伴う先端技術・ノウハウの導入ニーズの高まり
- 産業社会の電子化・自動化、生産性向上ニーズの高まり

【成長戦略】

- 医療インフラ事業は、トルコ病院PPP案件の確実な立ち上げ。新規PPP案件開発、医療関連インフラ提供・物流トレードなど取組みを深化。
- 産業機械・軸受事業は、サプライチェーン構築と事業投資による物流収益の拡大。
- プラントプロジェクト事業は、従来のEPCビジネスに加えて、事業投資によるビジネスモデル及び収益ポートフォリオの転換。
- 双日マシナリーは、取組案件の規模拡大と投資による関連物流収益の拡大。

(単位: 億円) 連結当期純利益/ROA



総資産 約1.190億円 想定投融资額(3ヶ年合計) 150億円



事業紹介① - i 医療インフラ事業

トルコ病院PPP 事業概要

| | | |
|--------|---------------|-------------|
| 契約先 | トルコ共和国 保健省 | |
| パートナー | トルコ・ルネサンスグループ | |
| 出資比率 | 総事業費 | 2000億円 |
| | 事業会社 | 30%出資 |
| | 施設管理会社 | 49%出資 |
| スケジュール | 2017年 10月 | 着工 |
| | 2020年10月 | 開院 |
| | 事業期間 | 28.5年間 |
| 病院規模 | 総病床数 | : 2682床 |
| | 敷地面積 | : 100万㎡ |
| | 想定利用者数 | : 65,000人/日 |
| | 医療関係者数 | : 4,500人 |
| | 建設期間 | : 36ヶ月 |

- 日系企業「最大」の病院PPP事業投融资案件。
- トルコ「最大」級のゼネコンと組んでの案件取り組み。



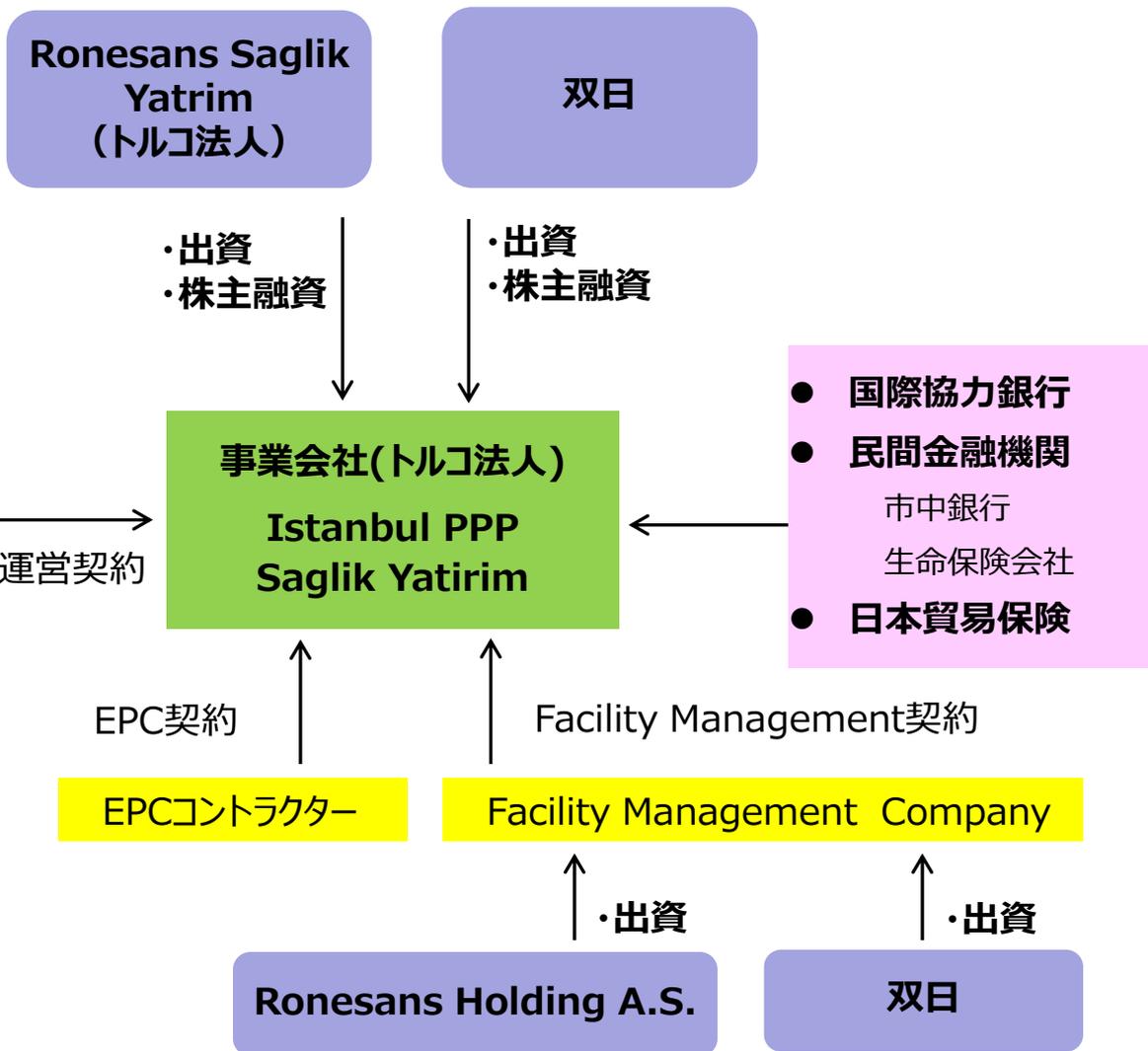
当社の役割

- 事業投資
- プロジェクトファイナンス融資組成
- Facility Management (施設管理)
- 日本製医療機器の紹介



事業紹介①- ii 医療インフラ事業/トルコPPP病院

| PPPにおける役割分担 | |
|---|--|
| トルコ政府 | 事業会社 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・病院経営 ・医師・看護師手当 ・医療行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・資金調達 ・設計 ・建設 (EPC) ・施設管理 |



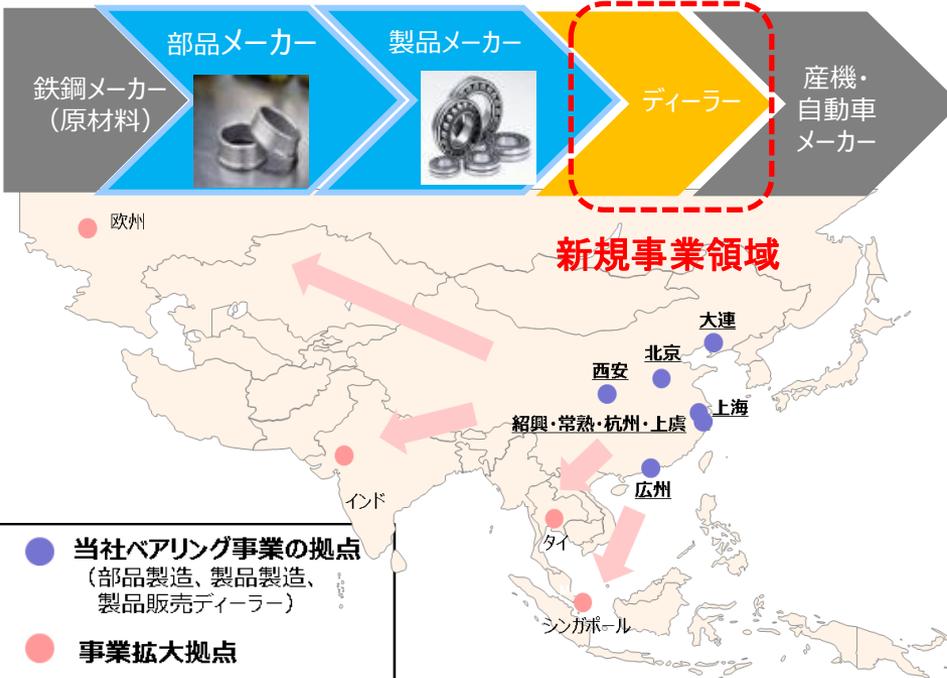
リスク対策 (Risk Mitigation)

- ① ベース収入に対し 物価・為替調整あり
- ② 日本貿易保険・MIGAの投資保険付保



事業紹介② 産業機械・軸受事業

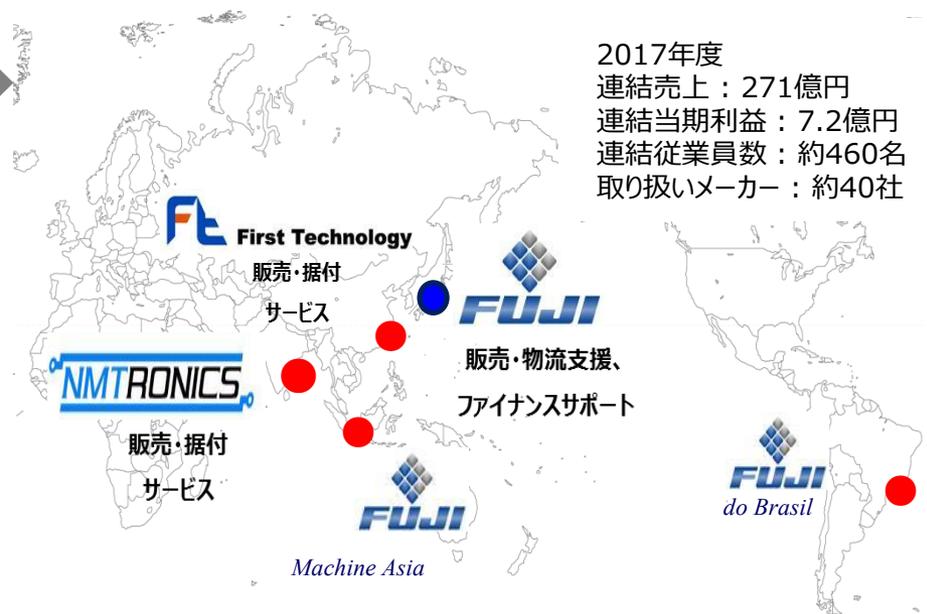
【産業の米と呼ばれるベアリング事業】



- 鋼材～部品販売・製品販売までのサプライチェーン構築。
- 事業投資による物流収益の拡大。
- 日本精工拡販のための製品販売・合併製造事業

- ① 中国事業の深堀り：ディーラーとの共同事業・OEM事業
- ② 他地域（欧州）への拡大展開：地産地消

【実装機・半導体・ロボティクス関連事業】



2017年度
 連結売上：271億円
 連結当期利益：7.2億円
 連結従業員数：約460名
 取り扱いメーカー：約40社

- 世界トップシェアを誇るFUJI製表面実装機の販売会社を中国、東南アジア、インド、ブラジルで展開。
- 周辺機器・部材など電子・半導体分野の顧客や、EMS（電子機器受託製造サービス）にトータルソリューションを提案。
- 自動化・省人化ニーズに対応する為、SIer機能を拡充し、ロボティクスソリューションプロバイダーを目指す。



事業紹介③ プラントプロジェクト事業

重点注力市場・ロシアNIS

- 豊富な天然資源を有することから、肥料・メタノール・石油化学プラントの建設需要が旺盛。
- 同地域での豊富なプラント納入実績に基づく、プラント事業の知見、ロシア語人材、現地人脈を生かしたEPCビジネスの展開。

既受注案件（パートナー）

- ロシア
- ◆ アンモニア・メタノール・尿素(三菱重工)
 - ◆ アクリル酸プラント(三菱重工)
 - ◆ アンモニアプラント(三菱重工)
 - ◆ ガスタービン発電設備 (川崎重工)
→メンテナンス事業への展開も推進
- トルクメニスタン
- ◆ 硫酸製造プラント(三井造船)
 - ◆ Gas to Gasolineプラント(川崎重工)
 - ◆ アンモニア・尿素製造プラント(川崎重工)

市場拡大による事業の「幅だし」

エンジニアリング機能

- エンジニアリング会社への出資参画により、当社の案件開発力とエンジニアリング機能を掛け合わせることで、ビジネス領域をインフラ事業までに拡大。

プラントビジネスモデル及び収益ポートフォリオの転換

- 環境関連ビジネスへの新規参画。
- Gas to Power事業など本部跨り案件の創出・出資参画。

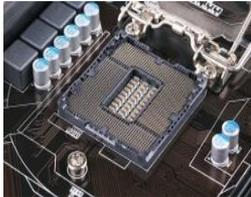


双日マシナリー 会社概要

◆双日マシナリー(株)会社概要◆

- 商号：双日マシナリー株式会社
- 資本金：15億円
- 設立年月：2004年4月1日（創立1989年10月1日）
- 社員数：246名（2018年8月1日現在）
- 所在地：東京都千代田区丸の内1-6-1
丸の内センタービルディング2F
大阪支社/名古屋支社
- 事業内容：各種生産設備・部材等の販売
“産業機械の総合商社”
- 主要海外拠点



| 本部 | 注力領域 |
|-------------|---|
| 先端システム本部 |  <ul style="list-style-type: none"> ・リチウムイオン電池製造装置及び部材 ・半導体、太陽光関連設備及び部材 ・食品加工機械 |
| 重工プラント本部 |  <ul style="list-style-type: none"> ・鉄・非鉄関連製造設備 ・圧延機・グラインダー ・金属加工関連設備 |
| 化学・環境プラント本部 |  <ul style="list-style-type: none"> ・石油・ガス・化学プラント設備 ・繊維・不織布関連製造設備 ・環境・リサイクル機器 ・林業機械 |
| 産業機械本部 |  <ul style="list-style-type: none"> ・電機・冷熱関連製造機器・設備 ・繊維機械等一般産業機械設備 ・フォルスター・ジャパン・ワインセラー |
| 自動車設備本部 |  <ul style="list-style-type: none"> ・中国、インド市場への大型設備投資案件の取り込み（パワトレ設備） ・マツダ・トヨタ米国新合弁会社への設備納入、並びに老朽化更新 ・EV、FCV用設備・部品 |



更なる成長へ向けて

● 医療インフラ事業

- トルコ案件の確実な立ち上げと中南米・中近東・東南アジア等への横展開
- 医療付帯サービスへの展開

● プラントプロジェクト事業

- 事業投資実行によるビジネスモデル転換
- 環境リサイクル事業への取り組み等、インフラ事業領域拡大

● 産業機械・軸受事業

- 軸受ディーラー買収等、事業投資による物流収益拡大
- インド・ブラジル等への実装機拡販

● 双日マシナリー

- 取組案件の規模拡大
- 投資による関連物流収益の拡大



sojitz

New way, New value